

小児肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を求める陳情

(福祉健康委員会付託)

受理番号 第110号

受理年月日 平成22年6月4日

付託年月日 平成22年6月8日

陳情者

.

陳情原文 細菌性髄膜炎は、乳幼児がかかると死亡率が高く、後遺症も重い病気です。その予防のためのヒブワクチン接種に、江戸川区が助成をしていただくことになり、大変助かっています。さらに細菌性髄膜炎を予防するためには、発症の20%を占める肺炎球菌へのワクチン接種が必要です。世界では43カ国で定期接種されています。日本でも2月からようやく接種可能になりました。肺炎球菌に感染すると重症化しやすく早期発見が困難で死にいたることもあります。肺炎球菌ワクチンは任意接種であるため、全額自己負担で、一回9千円から1万円かかります。重い費用負担が壁になって接種率は低迷しています。肺炎球菌ワクチンとヒブワクチンを合わせて接種することで、乳幼児の細菌性髄膜炎の発症を効果的に予防することができます。

江戸川区において、子どもたちの健やかな成長のために、小児肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を実施していただけるよう、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 江戸川区として小児肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を実施してください。
- 2 国に対し、定期予防接種としてヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチンを行うよう要請してください。